

開拓120年祝う記念の落成式、第九交響曲の町民合唱

東川町の開拓120年を祝う中心行事として、完成した新東川小学校体育館で東川小学校の完成落成式・第九交響曲の演奏・町民合唱コンサートが行われました。

広く明るく、大きくなって新東小落成式

東川小学校（大久保善邦校長、350人の新校舎が完成し、10月11日、隣接の町地域交流センターの完成と併せて落成式を開きました。

町民約700人が出席しました。松岡市郎町長は「念願だった複合教育施設が完成した。出会いと経験は最良の教師。子どもたちは、人々、自然、文化、スポーツとの出会いを通じてさま

ざまな刺激を受け個性豊かな素晴らしい人生を経験してくれることを願っています」と式辞。大久保校長は「新しい校舎で勉強を始めて1週間。のびのびとした廊下、広い体育館、2つもあがる音楽室、心潤す美術、緑豊かな広場があります。笑顔あふれる学校にした」とあいさつしました。

十河凜音（そごう・りおん）さん



（6年）は「どこも使いやすく、ワクワクしています。力いっぱい頑張つて素敵な歴史をつくっていきましょう」と児童を代表してうれしさを伝えました。（関連記事17〜18頁）

新東小完成祝ってみんなで第九合唱



フィルハーモニー管弦楽団（村田紘監督）。女声独唱には、旭川を中心に活動している鶴田玲子さん（ソプラノ）、佐々木智美さん（メゾソプラノ）、男声独唱は剣淵町出身の新海智貴さん（テノール）、旭川出身の豊島雄一さん（バリトン）の4人が加わりました。

町内の公募に応募した町民、旭川合唱連盟の団員、旭川福祉専門学校の学生102人に加え、札幌、深川、滝川、千歳、東神楽から参加した5市2町総勢280人の合唱団は、町内では昨年6月から毎週1回程度練習を重ねてきました。

約800人でいっぱいになった場内に4人のソリストの独唱が高らかに響き、大合唱が重なって初の第九大合唱は大成功。大きな拍手が鳴り響きました。

町開拓120年、新東川小学校の新築完成を記念して、10月19日同校体育館でベートーベン第九交響曲演奏会を開きました。

同演奏会実行委員会（藤田尚量実行委員長）が主催しました。演奏は旭川